

平成16年3月5日

関 係 各 位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号
 高千穂交易株式会社
 代表取締役社長 山村秀彦
 (登録銘柄コード・2676)
 問い合わせ先
 取締役
 経営システム本部長 赤堀寛人
 電話 03-3355-1111

平成16年3月期通期の業績予想(連結・単体)の修正について

平成15年11月7日付当社「平成16年3月期中間決算短信」で発表いたしました平成16年3月期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)の業績予想(連結・単体)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	23,221	1,041	587
今 回 予 想 (B)	20,710	750	442
増 減 額 (B - A)	2,511	291	145
増 減 率	10.8%	28.0%	24.7%
前期(平成15年3月期)通期実績	21,391	753	366

2. 単体業績予想の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	20,771	952	513
今 回 予 想 (B)	18,613	706	448
増 減 額 (B - A)	2,157	245	65
増 減 率	10.4%	25.8%	12.7%
前期(平成15年3月期)通期実績	19,945	781	410

3. 修正理由

(1)売上高は、デバイス事業において、産機商品類では、新札特需による ATM (現金自動預け払い機)用機構部品などが好調に推移し前期比 17.1%(528 百万円)の大幅増の見通しですが、電子商品類では、大口特定ユーザー向け半導体の生産調整による受注減や受注先送りの影響があり前年比 13.8% (1,397 百万円) 減の見込みであります。

また、システム機器事業セグメントにおいて、セキュリティ商品類では、リテールセキュリティ分野が引き続き大手 GMS (総合スーパーマーケット) 向けなどへの導入が進むものの、新規大口商談が翌年度になるほか、オフィスセキュリティ分野や情報ネットワーク商品類での顧客開拓が低調で、当セグメントは、前年比 5.7% (359 百万円) 増ながら前回予想を下回る見通しであります。

そのため、連結売上高は、前年比 3.2% (681 百万円) の減収となり、前回予想 10.8% 減の 20,710 百万円の見通しであります。

(2)利益につきましては、売上減収の影響があるものの、粗利益率が前期比で 1.5 ポイント改善されるほか、販管費については平成 14 年 10 月に子会社化した(株)エスキューブ分が増加しますが、経費の削減に努め前期比 4.5% 増になる見込みです。経常利益は前期並みで前回予想を 291 百万円下回る見通しであります。

また、当期純利益は、特別利益として米国ナスダック上場の投資有価証券売却による売却益約 200 百万円を見込む一方、特別損失にゴルフ場会員権評価損 57 百万円などが見込まれることから、前期比で 20.6% 増ですが、前回予想を 145 百万円下回る見込みであります。なお、単体の修正理由につきましても、同様であります。

当社は、引き続き新規開拓などの施策を進め、業績の向上に努めてまいり所存であります。

以 上